

協議会だより

青年技術士協議会

まずは、「初秋の増毛で地域と技術に浸るスクール&ツアー」、
そして、「研究会1『ストレスマネジメント講座』」、
さらに、「危機管理研究会」の3連発です。

1 「初秋の増毛で地域と技術に浸るスクール&ツアー」に参加して

1) はじめに

このツアーは北海道青年技術士協議会で今年度から活動内容として提唱している、「ニッポン・テクノロジーリズム構想」の第二弾として、平成18年9月30日(土)～10月1日(日)にかけて実施されました。

北海道の日本海沿岸部にある増毛町に赴き、豊かな“食”と北前船や鯨漁の歴史に彩られた“街なみ”を楽しみながら、国稀酒造に代表される様々な“地域の技術”を学び、地域内外の住民や専門家の親睦を深める盛りだくさんの内容でした。以下に本ツアーについて内容を簡単に紹介いたします。

2) ツアー内容の紹介

非常に内容が濃かったので全てを語りつくせませんが、雰囲気だけでも味わってください。

① 9月30日(1日目)

当日AM10時にJR札幌駅に集合し、貸切「急行仕様お座敷列車」で、一路増毛に出発しました。



車内では東北支部三浦さん提供のおいしい日本酒と特製鹿肉弁当に舌鼓をうちながら、参加者の自己紹介を行うなど親睦を深めました。

PM1:50頃増毛町に到着し、現地参加のメンバーと合流した後、北海道酒造好適米「吟風」の水田を生産者の工藤さん、開発者の田中さんの説明を聞きながら見学しました。次の見学コースである国稀酒造では、酒蔵の改修・増築の設計を担当した平尾さんの解説を交えながら酒蔵を見学し、「吟風」開発者の田中さん、「吟風」を使った日本酒をつくっている国稀酒造の粕谷製造部長によるミニ研修会を開催しました。お二人からは専門家ならではの興味深いお話を聞くことが出来ました。



その後交流会をかねた夕食会が催され、すっかり打ち解けあった参加者同士の会話は尽きることがありませんでした。

② 10月1日(2日目)

早朝に暑寒別川を遡上する鮭を観察して朝のさわ

やかな空気を満喫した後、地元観光ボランティアガイドの案内で増毛町内の北海道遺産を中心とした歴史的建造物を見学しました。

鯉漁が栄えた往時を思わせる建造物に、参加者一同感心しきりで見入っていました。

増毛での全工程を終え、地元の方に見送られながらお座敷列車で帰路につきました。

3) 終わりに

今回のツアー参加者からは「大人の修学旅行だね。」という声が聞かれました。色々な意味で勉強になり、思い出深いツアーでした。参加者の皆様と協力・後援して頂いた方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

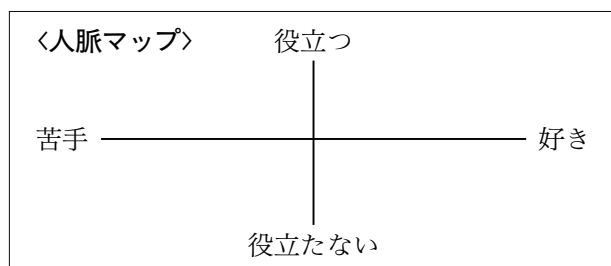
(文責：青年技術士協議会幹事 岡 宣克)

2 研究会1『ストレスマネジメント講座』

年末も押し迫った11月15日と12月8日の2回にわたり、心理カウンセラーの神田裕子先生をお招きして「起業と人財育成のポイント」と「ストレスマネジメント講座～ハートにビタミン!～」が開催されました。

【起業と人財育成のポイントとは】

どのように働くか？ それを考えるヒントとして「自分の価値観」「人脈」「職務と役割」について考える講義が行われました。地位、収入、時間、評価、保障、人間関係、仕事のうち最も重要と考えているのは何かを判断するシートが配られ、普段意識していない自分の考えが明らかになり、驚きました。また、自分の周囲にいる人達を「好き——苦手」「役立つ——役立たない」の価値軸にあてはめ人脈マップを作成する講義では、作成後のマップを見て、役立つ——役立たないの線引きは何か？ 苦手で役立たない人とどうして付き合いがあるのか？ 改めて自分を見直すことができました。



起業に必要なものは時・場・人であり、そのためにはまず自分の立ち位置を十分意識することが大事なのだと考えさせられました。

【ストレスマネジメント講座～ハートにビタミン～】

近年、社会や職場で精神的にバランスを損なう人が増えています。ストレスマネジメント講座では、自己の状態をチェックし、心の病と人格障害の違い等について学びました。

最も印象が強く残ったのは「うつ病は風邪のようなもの、誰でもなるし、結構すぐ直る」という表現でした。しかし、風邪をこじらせると大変な事になります。如何に風邪を引かないようにするかが重要であり、そのために、普段の会話の中から、相手の言葉にしていない気持ちを引き出すカウンセリングマインドを持つことが大事であると学びました。

〈うつ病の特徴〉

ごくありふれた病気である(生活習慣病に近い)／誰でもなる可能性がある／性格の弱さや家族が原因ではない／例えて言えば「脳のかぜ」のようなもの／身体全体のエネルギーが低下したような状態／精神の病気というより身体の病気である／等々

参加者の方々は、日々の仕事が忙しくハートにビタミンを補給しに来た方が多かったのですが、バーニングテストでは皆「まだ大丈夫」のランクであり、おかしいなあと言う意見が多くありました。(笑)



【講義の様子】

最後に、神田先生はとてもパワフルな女性で、お

話を聞いていてもグイグイ引き込まれ、知らない自分が見えてくる様でした。今回は、つたない仕切りで先生を始め、幹事の方々にはご迷惑をおかけしました。

(文責：青年技術士協議会幹事 井上 涼子)

3 危機管理研究会

1) お知らせ・その 1

危機管理研究会の顧問をしていただいております(株)アイ・アールジャパンの田口淳子氏のご講演を予定しております。

日時：平成 19 年 2 月 9 日(金)18:00～

場所：KKR 札幌(北 4 西 6)(時間と場所は変更の可能性ありますのでお申し込みの際には改めてご確認ください。)

お問い合わせ、お申し込みは、

(株)シー・イー・サービス 正岡 久明

E-mail: masaoaka.h@ces.co.jp(会社)

TEL: 011-855-3293(企画開発部 直通)

FAX: 011-854-9552

2) お知らせ・その 2

約 3 年余り続いた危機管理研究会もいよいよ今年度を最後に活動休止に入りますが、この度これまでの活動成果をまとめた、書籍『組織の危機管理を考える』が販売されました。

23 例の事件や企業不祥事などのケーススタディ、危機時の対応の考え方、危機管理に関する話題など全 113 ページと盛りだくさんの内容になっています。

<目次>

1. はじめに
2. 危機管理研究会のあらまし
3. ケーススタディ ～過去の危機管理事例に学ぶ～
4. 危機管理レポート
5. 危機管理シミュレーション
6. 危機管理研究会の活動経過
7. おわりに
8. 参考図書・参考文献の紹介

販売価格は、製本印刷の実費分 500 円(テキスト代として)です。是非、ご一読いただければと思います。

なお、本書の販売は、札幌市厚別区新さっぽろ駅近くの「北海道技術士センター」(株)ドーコン内、1 F)の窓口で取り扱っております。

【販売窓口】

(株)日本技術士会北海道支部北海道技術士センター
住 所：〒004-8585

札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4-1
連絡先：TEL 011-801-1617

※郵送の場合は、着払いとなります。

この機会に是非ご購入頂き、企業等の研修資料など、幅広い活用をしていただけると幸いです。

販売部数は 800 部限定ですので、まとまった部数を確保したい方はお早めに申し込みをお願いします。

※本書の販売にあたっての一切の収益は、青年技術士協議会に帰属することになります。

(文責：青年技術士協議会幹事 天沼 宇雄)